



MIYAKOJIMA

自立支援協議会 (事業所部会)

事業所部会に携わって10年



事業所部会には、2015年頃に事業所連絡会の流れを受けて立ち上がった後くらいに関わらせていただくことになりました。そこから早いもので、気がつけば10年という年月が経ちました。振り返ると、自分自身がどれほど貢献できたのかは心もとない部分もあります。

当時はまだ事業所数も少なく、限られた資源の中で支援を模索していた時代でした。それが今では、事業所の数も大きく増え、関わってくださる方々も広がり、都島区の障がい福祉を支える輪が確実に強くなってきたと感じています。

この10年は、事業所部会だけでなく、自立支援協議会そのものが前に進んできた大切な節目でもありました。

H30年から部会長へ

この10年間、事業所部会の活動の中で何より大切にしてきたのは、事業者同士の「つながり」です。

平成30年頃から副会長として関わらせていただく中で、特に強く感じていたのは、支援が分野ごとに分断されがちであるという現実でした。

子どもの支援は子どもの支援、大人の支援は大人の支援と、それぞれが懸命に取り組む一方で、縦のつながりや連携の機会が少ない状況が続いていました。そこで、事業者同士が顔を合わせ、語り合い、地域の中で支援をつなげていける場をつくりたいという思いから、「福祉資源フェスタ」を立ち上げました。

地域の方々に向けたイベントでありながら、事業者間の交流の場としても大きな意味を持つ取り組みになったと感じています。コロナ禍で一時中断もありましたが、冊子やマップ作成なども含め、都島区の力の一つとして根づいてきたことを嬉しく思います。

これからの展望

今後は、これまで以上に違う視点から障がい福祉に関わっていきたいと考えています。自立支援協議会の活動は、福祉という枠の中で物事を捉える場面が多くありました。しかし、これからは、地域やまち全体の視点を持ちながら、障がいのある方もない方も安心して暮らし続けられる「まちづくり」という目線で福祉を支えていきたいと思っています。そのために、地域の方々と共に楽しめるイベントの企画や、必要に応じた物販など、新たな社会参加の機会を生み出しながら、誰もが安心して生活できる地域づくりに貢献していきたいです。



この10年間、事業所部会に関わる機会をいただけたことに、心より感謝しております。思うようにいかないこともある中で、多くの方に支えていただき、自由に活動させていただいたからこそ、たくさんのつながりを築くことができました。退任後も自立支援協議会には引き続き関わり、できる形で協力していきたいと思っています。本当に10年間、ありがとうございました。

NPO法人 真成会 箱田 成司